

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 27 年 8 月 20 日 (2015.8.20)

【公開番号】特開 2014-71391 (P2014-71391A)  
 【公開日】平成 26 年 4 月 21 日 (2014.4.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-020  
 【出願番号】特願 2012-218938 (P2012-218938)  
 【国際特許分類】

G 1 0 K 15/04 (2006.01)

G 1 0 K 15/02 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

【F I】

G 1 0 K 15/04 3 0 2 D

G 1 0 K 15/02

H 0 4 N 7/173 6 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 2 日 (2015.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カラオケ歌唱映像を録画して公開可能であり、既に公開されたカラオケ歌唱映像とコラボレーション歌唱を行うためのシステムであって、音声入力手段と、歌唱映像録画手段と、歌唱態様判定手段と、歌唱映像管理手段と、歌唱映像公開手段と、コラボレーション映像抽出手段と、を備え、

前記音声入力手段は、カラオケ楽曲の演奏に伴い発生する音声を入力し、

前記歌唱映像録画手段は、利用者のカラオケ歌唱映像に、前記入力された音声を含んで録画し、

前記歌唱態様判定手段は、任意の利用者がカラオケ歌唱映像を録画する際に、所定のリファレンスデータに基づき、入力された音声について、少なくとも、男声パートや女声パート等の歌唱パート、A メロ、B メロ、サビ等の歌唱区間、主旋律やハモリパート等のボーカル種別、歌唱区間外の音声入力等からなる歌唱態様種別のいずれに該当するかを判定し、

前記歌唱映像管理手段は、少なくとも、録画したカラオケ歌唱映像と、判定された歌唱態様種別と、カラオケ楽曲の曲名とを関連付けて、歌唱映像データベースに登録して管理し、

前記歌唱映像公開手段は、少なくとも、前記録画したカラオケ歌唱映像に関連付けられた曲名及び歌唱態様種別を検索項目として、各カラオケ歌唱映像を検索可能に公開し、

前記コラボレーション映像抽出手段は、利用者により指定された、少なくとも、曲名及びカラオケ歌唱映像の歌唱態様種別に基づいて、該当するカラオケ歌唱映像を抽出して選択可能に表示する、

ことを特徴とするコラボレーション歌唱システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0013】

音声入力手段は、カラオケ楽曲の演奏に伴い発生する音声を入力するための手段である。歌唱映像録画手段は、利用者のカラオケ歌唱映像に、入力された音声を含んで録画するための手段である。歌唱態様判定手段は、任意の利用者がカラオケ歌唱映像を録画する際に、所定のリファレンスデータに基づき、入力された音声について、少なくとも、男声パートや女声パート等の歌唱パート、Aメロ、Bメロ、サビ等の歌唱区間、主旋律やハモリパート等のボーカル種別、歌唱区間外の音声入力等からなる歌唱態様種別のいずれに該当するかを判定するための手段である。

## 【手続補正3】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0015

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0015】

本発明のコラボレーション歌唱システムによれば、録画された歌唱映像に付帯する音声に基づいて、男声パートや女声パート等の歌唱パート、Aメロ、Bメロ、サビ等の歌唱区間、主旋律やハモリパート等のボーカル種別、歌唱区間外の音声入力等からなる歌唱態様種別が自動的に判定される。そして、録画したカラオケ歌唱映像に関連付けられた曲名及び歌唱態様種別を検索項目として、各カラオケ歌唱映像を検索可能に公開する。

## 【手続補正4】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0019

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0019】

## &lt;システムの概要&gt;

本発明の実施形態に係るコラボレーション歌唱システム10は、カラオケ歌唱映像を録画して公開可能であり、既に公開されたカラオケ歌唱映像とコラボレーション歌唱を行うためのシステムである。そして、録画された歌唱映像に付帯する音声に基づいて、男声パートや女声パート等の歌唱パート、Aメロ、Bメロ、サビ等の歌唱区間、主旋律やハモリパート等のボーカル種別、歌唱区間外の音声入力等からなる歌唱態様種別を自動的に付与することにより、容易かつ確実にコラボレーション相手の歌唱映像を探し出せるようにしたものである。

## 【手続補正5】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0040

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0040】

## &lt;歌唱態様判定手段&gt;

歌唱態様判定手段62は、任意の利用者がカラオケ歌唱映像を録画する際に、所定のリファレンスデータに基づき、入力された音声について、少なくとも、男声パートや女声パート等の歌唱パート、Aメロ、Bメロ、サビ等の歌唱区間、主旋律やハモリパート等のボーカル種別、歌唱区間外の音声入力等からなる歌唱態様種別のいずれに該当するかを判定するためのプログラムからなる。すなわち、歌唱態様判定手段62は、A/Dコンバータ59を介して入力された歌唱音声を分析して、カラオケ楽曲の演奏に伴う歌唱位置、男声パートや女声パート等の歌唱パート、Aメロ、Bメロ、サビ等の歌唱区間、主旋律やハモリパート等のボーカル種別、歌唱区間外の音声入力（例えば、合いの手）等を判定し、歌

唱態様種別を付与する。